

令和元年度（2019年度）

多摩市若者会議

および若者のまちづくりプロジェクト運営支援業務委託事業

実施報告書



2020年2月 合同会社TAO

1.多摩市若者会議の実施について

多摩ニュータウンや聖蹟桜ヶ丘等の住宅地を抱える多摩市において高齢化が急速に進展する中、若い世代の動向を見ると、多摩市および近隣自治体に大学等の教育機関が多いことから一定の人口流入は見られる。一方で、市政に若者の意見が反映されにくいという社会課題を解決するために始まった本事業も最終年度である3年目を迎えることとなった。

一年目の若者会議では、若者のニーズやウォンツを探り、拠点となる場「未知カフェ」創設の計画を策定し、二年目にはクラウドファンディングを実施し「未知カフェ」をオープンした。最終年となる今年度は、「未知カフェ」を中心とした若者の自律的な活動を促し、来年度以降も自走していくための仕組みづくりを行うための対話を行った。

実際には、フィールドワークを含めて全6回のワークショップを行い、延べ参加者数は221名であった。

▼多摩市若者会議ファシリテーター：林田暢明（総務省地域力創造アドバイザー）

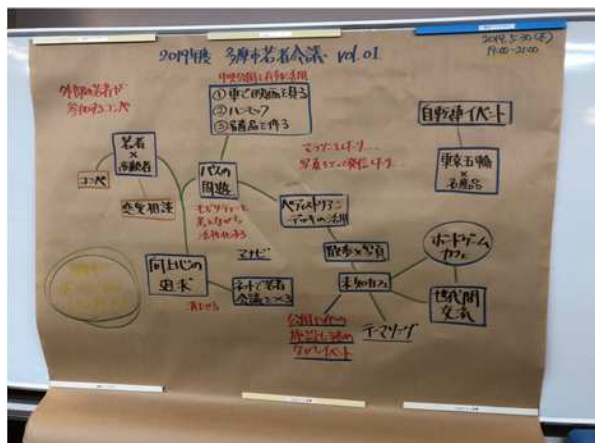
日本銀行、政策シンクタンクを経て、2005年、地域活性化を目的としたカフェ「TAO」を福岡市に設立。2013年から、総務省地域資源・事業化支援アドバイザーを受任し、全国各地で自治体等に対してアドバイザー業務を実施している。他に、角川ドワンゴ学園N高等学校 顧問、北九州市立大学大学院ビジネススクール特任教授を務めるなど、教育分野、民間企業においても実績多数。42歳、北九州市出身。

2.参加者の概要

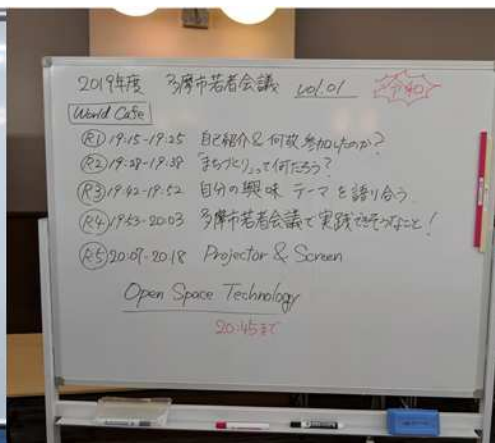
会議内容	開催日	場所	内容	参加人数	平均年齢
第1回若者会議	5月30日(木) 19:00-21:00	パルテノン多摩	新たにチャレンジできそうなコンテンツについて	48名	29.7歳 (年齢制限なし)
第2回若者会議	6月28日(金) 19:00-21:00	未知カフェ	参加者自らが取り組んでいくプログラムについて	30名	26.2歳
第3回若者会議	7月24日(水) 19:00-21:00	パルテノン多摩	若者会議の今後の可能性と自分が取り組むことができるコンテンツ	36名	30.9歳 (年齢制限なし)
第4回若者会議	11月22日(金) 19:00-21:00	未知カフェ	未知ピッチ：参加した若者によるピッチプレゼン	20名	26.0歳
フィールドワーク	11月23日(土) 14:30-17:00	市内各所	多摩市内を歩きながら深く探求するフィールドワーク	16名	--
第5回若者会議	1月20日(月) 19:00-21:00	パルテノン多摩	今後(来年度以降)の若者会議の企画について等	71名	32.5歳 (年齢制限なし)
合計				221名	30.0歳

全体の参加者は221名と昨年度比(230名)▲3.9%と9名減少したが、今年度は半分の3回を収容人数が少なく駅からの立地も遠い未知カフェで開催したため、実質的には昨年と同等かそれ以上のインパクトがあったものと考えている。また、パルテノン多摩で開催した3回については、年齢制限を解除していたため全体の参加者平均年齢は30.0歳とやや高くなった。

3.第1回多摩市若者会議 実施報告



参加者からのアウトプット



第1回若者会議の流れ



当日の様子

第1回若者会議 令和元年5月30日(木) 19:00-21:00 於:パルテノン多摩 参加者数:48名(平均年齢29.7歳)

今年度から、若者会議はパルテノン多摩と未知カフェで交互に行うこととした。パルテノン多摩で実施するものについては、今後の方向性を示すものを年齢制限を設けず開催し、未知カフェで行うものについては若者に限定し、より具体的なコンテンツ・サービスの開発を行うこととした。

当日は、昨年(2年目事業)までの結果に拘らず、初めての参加者も、これまで参加したことのあるメンバーも、ともに新しく創設した拠点「未知カフェ」を起点に何を行動していけるかについてアイデア出しを、ワールドカフェ、プロジェクター&スクリーン、OSTなどのファシリテーション手法を用いて行った。この中で、自動運転バスや自転車などモビリティの強化についての意見や、高齢者と若者の多世代交流などの意見が発表された。

4.第2回多摩市若者会議 実施報告



参加者からのアウトプット

当日の様子

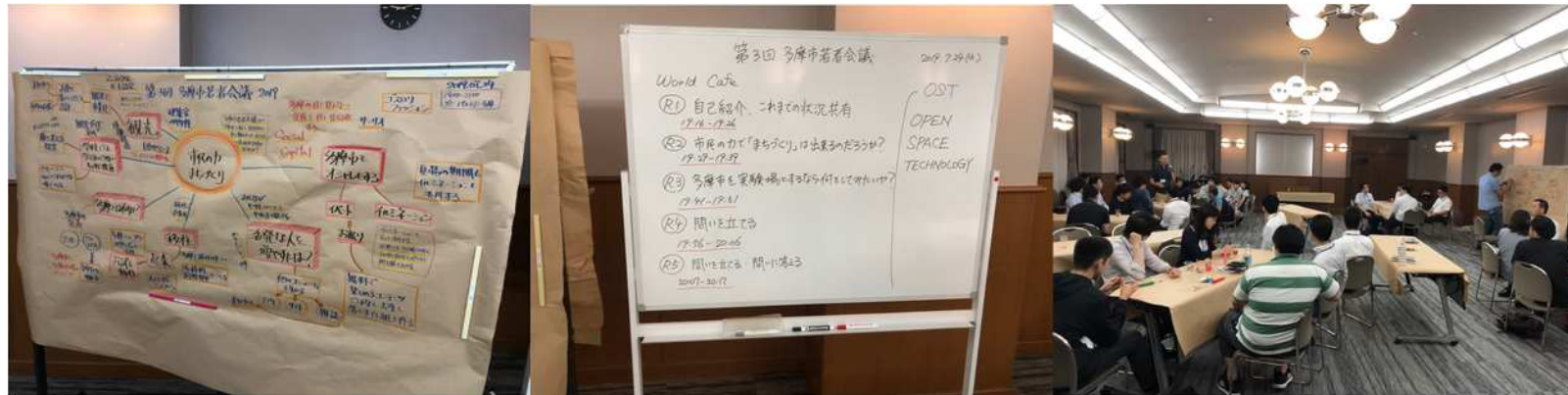
第2回若者会議 令和元年6月28日(金) 19:00-21:00 於:未知カフェ 参加者数:30名(平均年齢26.2歳)

第2回若者会議では、新しく創設した拠点(未知カフェ)を活用して、参加者自身がどのような活動を展開していくのかのアイデア出しを行った。

行政が考えたことを市民が実行する、誰かが考えたことを若者会議メンバーがやるのではなく、自分自身が興味があるもの、自分の中のウォンツ、ニーズを探り出し、それらを具体的な行動に落とし込むためのコンテンツづくりを、ワールドカフェ、OST、フィッシュボーンなどのファシリテーションスキルを活用して行った。

この結果、実施したいアイデアとして「大学生や若者のチャレンジを応援する場」「婚活イベント」「プロボノ活動の場」「出張未知カフェ」「農業カフェ」「多摩市のガイドブックをつくりたい」などが出された。

5.第3回多摩市若者会議 実施報告



参加者からのアウトプット

第3回若者会議の流れ

当日の様子

第3回若者会議 令和元年7月24日(水) 19:00-21:00 於:パルテノン多摩 参加者数:36名(平均年齢30.9歳)

第3回若者会議は、パルテノン多摩で年齢制限を取り外し、多摩市若者会議全体の方向性を探るフェーズとして開催した。ワールドカフェ、OSTなどのファシリテーション手法を用いて、「自分ができそうなこと」のアイデアを出し、さらに似たアイデアを持つ人々とグループになって、今後の若者会議の進むべき道について話し合った。

この結果、市民の力によるまちづくりの方向として「観光の事業化」、「多摩市をオシャレにするには」、「地域活動に活発な人を増やすには」、「多摩への移住を増やす」、「学校では学ぶことのできないキャリア教育提供」、「多摩とは何か」などのアイデアが出された。

6.第4回多摩市若者会議 実施報告



参加者からのアウトプット

当日の様子

第4回若者会議 令和元年11月22日(金) 19:00-21:00 於:未知カフェ 参加者数:20名(平均年齢26.0歳)

第4回若者会議は、未知カフェでコアメンバーと若者参加者による、具体的なコンテンツ・プログラムづくりのフェーズとして開催した。これまで3回の若者会議を経て、実際に未知カフェで実践してきた、もしくは実践予定のコンテンツのうち、未知カフェの経営について、予防医療と健康経営、michi lab.プログラミング教育、Any agri(誰でも農)、スポーツによる社会連携の5つについて企画者が短いプレゼンをするピッチプレゼンを「未知ピッチ」と名付けて実施した。

この結果、実施したいアイデアとして「地域課題解決コンテスト開催」「ゲームイベント」「プログラミング教育」「大学生同士、社会人との交流」「映画上映会」「観光案内所」「読書会」「若者会議の名称変更！」などが出された。

7.多摩市若者会議フィールドワーク



集合写真



当日の様子（右は雨の鶴牧東公園）



多摩市若者会議フィールドワーク 令和元年11月23日（土）14:30-17:00 参加者数:16名

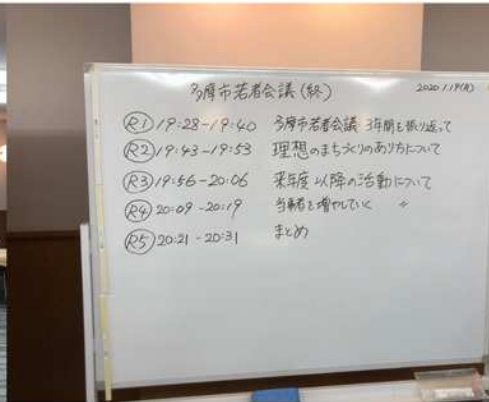
今年度は、このフィールドワークのコースを、多摩市を訪れる外国人観光客（視察・研修）向けにツアーとして実施することを想定してコース設計された。当初は、多摩センター中心、聖蹟桜ヶ丘中心コース、映画やドラマの撮影スポット（聖地巡礼）の3コースを準備していたが、折からの強い雨によって「緑とオープンスペースネットワークコース～（京王多摩センター駅出発）」と名付けられた多摩センター中心のコースを全員で廻った。

このコースは、京王多摩センターから多摩中央公園、宝野公園、奈良原公園、鶴牧東公園からパルテノン多摩と巡回するコースで、多摩ニュータウンの先進的な街づくりの特徴である団地と公園を中心に巡った。具体的には多摩センターを代表する通りと公園、落合地区の先進的事例となった建築物、鶴牧地区の先進的事例となった建築物、宝野公園等を視察した。

8.第5回多摩市若者会議 実施報告



集合写真



第5回若者会議の流れ



当日のアウトプット

第5回若者会議 令和2年1月20日(月) 19:00-21:00 於:パルテノン多摩 参加者数:71名(平均年齢32.5歳)

若者会議3年事業の最終回となる第5回目では、冒頭、コアメンバーの高野氏から今後(来年度以降)の若者会議の方向性についてプレゼンテーションがあった。それを受けて、来年度以降、若者会議が果たすべき役割について、ワールドカフェの手法についてアイデア出しを行った。

この結果、多摩市の事業としての若者会議終了後は、当事者をより多く増やし、まちづくりを活発にするためには多世代交流も必要なことから「“若者会議”というネーミングを変える」というアイデアや「SNSの活用による情報発信」、「昼間の未知カフェ活用」、「相談できるリーダーを育てる」、「継続性のあるイベント実施」、「場所貸しできる強みを発信」などのアイデアが出された。

9.若者のまちづくりプロジェクト運営支援業務について

本事業については、若者会議の企画・実行とファシリテーションの業務のほかに、「未知カフェ」の運営をはじめとした「若者のまちづくりプロジェクト運営支援業務」が含まれている。事業3年目となる今年度は、若者会議からでたアイデアのほか、コアメンバーと呼ばれる自律的に活動するメンバーを中心に開催してきた「コアメンバー会議」で出されたアイデアを実行に移し、多種多様な事業を実施してきた。以下では、それらの活動内容について報告として纏めていく。

▼コアメンバー会議の実施について

この間、若者会議とは別に「コアメンバー会議」を会場はいずれも未知カフェを利用して実施してきた。今年度については、4月14日（参加者数13人）、5月17日（同13人）、6月6日（同10人）、7月3日（同11人）、8月26日（同11人）、9月29日（同6人）、10月22日（同8人）、1月14日（同9人）と、計8回、述べ81名が参加した。

▼未知カフェの運営等について

No	タイトル	日付	詳細	メイン担当
1	未知カフェの運営	4月5日以降随時	コアメンバーによる週末1日店長営業	—
2	未知カフェの運営 (コアメンバー以外)	12月7日、12月20日、 12月21日	コアメンバー以外の希望者による1日店長営業	—

10.未知カフェの運営について～床はりDIYイベントを実施～



事業2年目にクラウドファンディングを実施し、DIYを交えながら施工・創設した未知カフェだが、設備として足りない部分を随時、メンバーを募ってDIYイベントとして設置した。

このうち、モルタル張りの床の殺風景な雰囲気強く圧迫感を感じていたところから、店舗奥半面をフローリングにするべくDIYを実施した。

11.未知カフェの運営について～黒板づくりDIYイベントを実施～



未知カフェでワークショップをするのにホワイトボードがなかったことや、普段、飲食店として営業する際にメニューを書くボード等もなかったことから、コアメンバー会議の中で黒板を設置することがアイデアとして出された。

そこで黒板のベースとなる木版を購入、黒板用の塗料を吹き付けてDIYで作成。現在は、入店して前を見ると左手の壁面に大きく設置している。

12.未知カフェの運営について～看板づくりワークショップを実施～



未知カフェの看板も、DIYを行い設置した。ガーデンシティ多摩センターこどもまつりに参加し、祭りに参加した地域の子供達と一緒にペンキを塗り作成した。当初は、一から子供達にデザインさせる案もあったが、年齢層がばらばらで、また低学年層が多かったため、基本デザインのロゴはコアメンバーが準備し、そのロゴを枠で囲い子供達が思いおもいに色付けていくという内容で看板を作成した。

13. 一日店長による未知カフェの営業



中国人留学生店長
による餃子イベント

進谷医師をゲストとして招き
「或る医師のカンボジアストーリー」
と題して勉強会兼店舗営業を実施

コアメンバー以外の市民によって
「酒フェス」と題して開催されたイベント

クリスマスパーティーも兼ねて

4月5日以降、基本的には週末の金曜日、土曜日を中心にコアメンバーが一日店長となって未知カフェの飲食店としての営業を行った。当初は、ランチ営業も行っていましたが一部のコアメンバーに労力が偏り負担となっていたことから、現在は、夜のみの営業となっている。この間、コアメンバー以外の店長も徐々に増え始めており、中国人留学生が作る餃子をコンテンツとしたイベント、「酒フェス」と題して多摩の地酒を中心に楽しむイベントなどは好評を博している。そのほか、医師の進谷氏を招いて行ったカンボジアの医療現場の報告会を実施するなど、様々なプログラムが組成されている。

今後の課題としては、コアメンバーだけでなく一般市民の一日店長を募り、週末は必ずオープンできるような体制を整えることだ。また、店長候補が増えれば週末に拘らず平日の営業も可能となることから、よりコミュニティを拡大させていくような取り組みを、今後も行っていく。

14.未知カフェで実施したイベント

No	タイトル	日付	詳細	メイン担当（敬称略）
3	多摩コミュニティビジネス交流会開催（共催）	3月27日	多摩コミュニティビジネス交流会と共催で、地域活性化に関わる人たちの交流会を実施	高野・高木
4	東京ヴェルディ・日テレベレーザPV	8月24日、9月14日 11月2日	東京ヴェルディ、日テレベレーザと連携し、アウェイの試合時にパブリックビューイングを実施	渡部・西山・泉・高野・高木・加藤
5	サルベージパーティ	11月24日	コアメンバーの大学生主催によるイベント	西山
6	酒フェス	12月15日、2月10日	酒フェスと題してイベントを実施	高橋(良)・松島・西山・杉村・高橋(菜)・石原・柏木
7	ワンコイン起業相談会	12月6日、1月31日 3月13日	相談件数 2 件	高橋(良)
8	寄居若者会議との交流会	2月8日	他地域の若者会議との交流会	多摩市
9	プログラミングであそんじゃお	1月18日、2月15日 2月29日	小学生を対象としたプログラミング教室を開催	鷲尾、木下
10	宿題・自由研究教室	夏休み期間	夏休みの宿題&自由研究サポート教室。	木下・相田・木村
11	模擬裁判体験教室	11月16日	申込者ゼロでリハーサルを実施	高野、木下

15.東京ヴェルディ / 日テレベレーザ戦 パブリック・ビューイング



参加型のイベントも企画



観戦中の様子(9/14) ヴェルディ



未知カフェ店内の装飾の様子

未知カフェにて、多摩市をホームタウンとするJ2東京ヴェルディとなでしこリーグ日テレベレーザのアウェーのゲームのパブリックビューイングを開催した。ホームタウンとしての応援を大きくすることで地域活性化に繋げることを狙ったもの。本企画の縁がきっかけとなり、(一社)東京ヴェルディクラブが社会の為に価値を見出す人材を育成する目的で始めた施策『東京ヴェルディカレッジ』の取り組みにおける協働もスタートした。

16.プログラミングであそんじゃお



プログラミング教室の様子

「プログラミングであそんじゃお！」と題して、小学生向けプログラミング教室を開催した。1月18日、2月15日、2月29日（予定）の3回を企画している。

内容としては、実際に小学生がプログラミングを学んでみて、「できた」という楽しい感覚を経験してもらうことを目的としている。文部科学省は来年度以降、小・中学生に一人一台のタブレットを配布し、プログラミングの授業にもドライブをかける意向だが、それらをサポートする意味あいも込めて無料で実施しているところだ。

子供達の満足度も非常に高く、今後も参加者が伸びていくことを見込んでいるが、今後の課題としてはマネタイズをしながら未知カフェの維持・運営費に当てていくのか、それとも教育に関することなので無料で実施し続けるのかなど、検討しなければならない。

17.公園・遊歩道を活用したまちづくりプロジェクト

No	タイトル	日付	詳細	メイン担当（敬称略）
12	Googleストリートビュー	9月～12月	Googleからストリートビュー用のカメラを借り3か月かけて多摩市内のペディストリアンデッキを歩きGoogleマップにストリートビューをアップロード	渡部・相田・高木・高野・神崎・加藤
13	多摩ニュータウン魅力実感イベント	11月9日	モバイル屋台初出張	多摩市、高野
14	多摩中央公園プレイスメイキング社会実験	3月28日	台風のため、3月に延期	高野

18.Googleストリートビュー



撮影の様子



公開されたストリートビュー画像例
(落合地区遊歩道)



公開されたストリートビュー画像例
(鶴牧東公園)

市内多摩ニュータウン地域に整備された41Km超の完全歩車分離の遊歩道網と主要公園について、GoogleMapのストリートビューに対応させようとするもの。

Google社のパートナープログラムを利用し、トレッカー(重さ約20Kg)をお借りし、若者会議メンバー中心に撮影を行った。2019年12月より順次公開されており、2020年2月中に全面公開予定。

遊歩道網と公園は多摩市の魅力であるとの意見が多く、広く利用されているGoogleストリートビューに掲載することで、多摩市の魅力発信に繋がたい。今後、GoogleMapへの写真掲載を進めるなど、さらなる活用を予定している。

19.地域イベントへの参加

No	タイトル	日付	詳細	メイン担当（敬称略）
15	ガーデンシティ多摩センターこども祭り	5月3日、5月4日	祭りに参加したこどもたちと未知カフェの看板を作成	松島、相田、木下、加藤、前田、高木、高野、
16	多摩ニュータウン魅力実感イベント	8月20日～22日	団地集会所に設置されたコワーキングスペースでの子供向け宿題・学習サポート。NHK首都圏ニュースで放映。	木下、相田、木村
17	JSmile多摩八角堂ランタンフェスティバル	9月7日	出張未知カフェをオープンし、ベトナム料理の「フォー・ガー」を提供。	高野、高木、相田、鷺尾、高橋(菜)、石原、小山、西山
18	KAOFES	9月15日	インタビュワーの職業体験ブース、コースターづくりのブースを運営	高木
19	多摩シャルソン	10月5日	未知カフェを「給ポイント」として参加。	高木、高野、木下
20	JSmile多摩八角堂クリスマスウィーク	12月21日	松ぼっくりミニクリスマスツリーワークショップ開催、モバイル屋台出張。	高木、高野、鷺尾
21	多摩マイライフ包括支援協議会	1月31日	多摩市のこれからの居場所を考えるをテーマに登壇・	高野

20.JSmile多摩八角堂ランタンフェスティバル



ベトナム料理の
フォーを提供



ランタンフェスティバルの様子



出張若者会議で
多摩市の推しスポットを
洗い出し

JSmile多摩八角堂ランタンフェスティバルに出張未知カフェ+若者会議として参加した。ランタンフェスティバルが、ベトナムの古都ホイアンをモチーフにしているところから、フォー・ガー（鶏肉のフォー）のレシピをベトナムから取り寄せて提供した。

また、出張若者会議と称して、フェスティバル参加者にファシリテーションを実施。多摩市の推しスポットをテーマにアイデア出しを行い、様々な推しスポットが寄せられた。それぞれ付箋に推しスポットを記入してもらい、模造紙にまとめて可視化した。

21.KAOFES



齊藤工務店と協働で
端材を活用したコー
スター作りを実施

出張若者会議で
ファシリテーションを実施

ランタンフェスティバルの様子

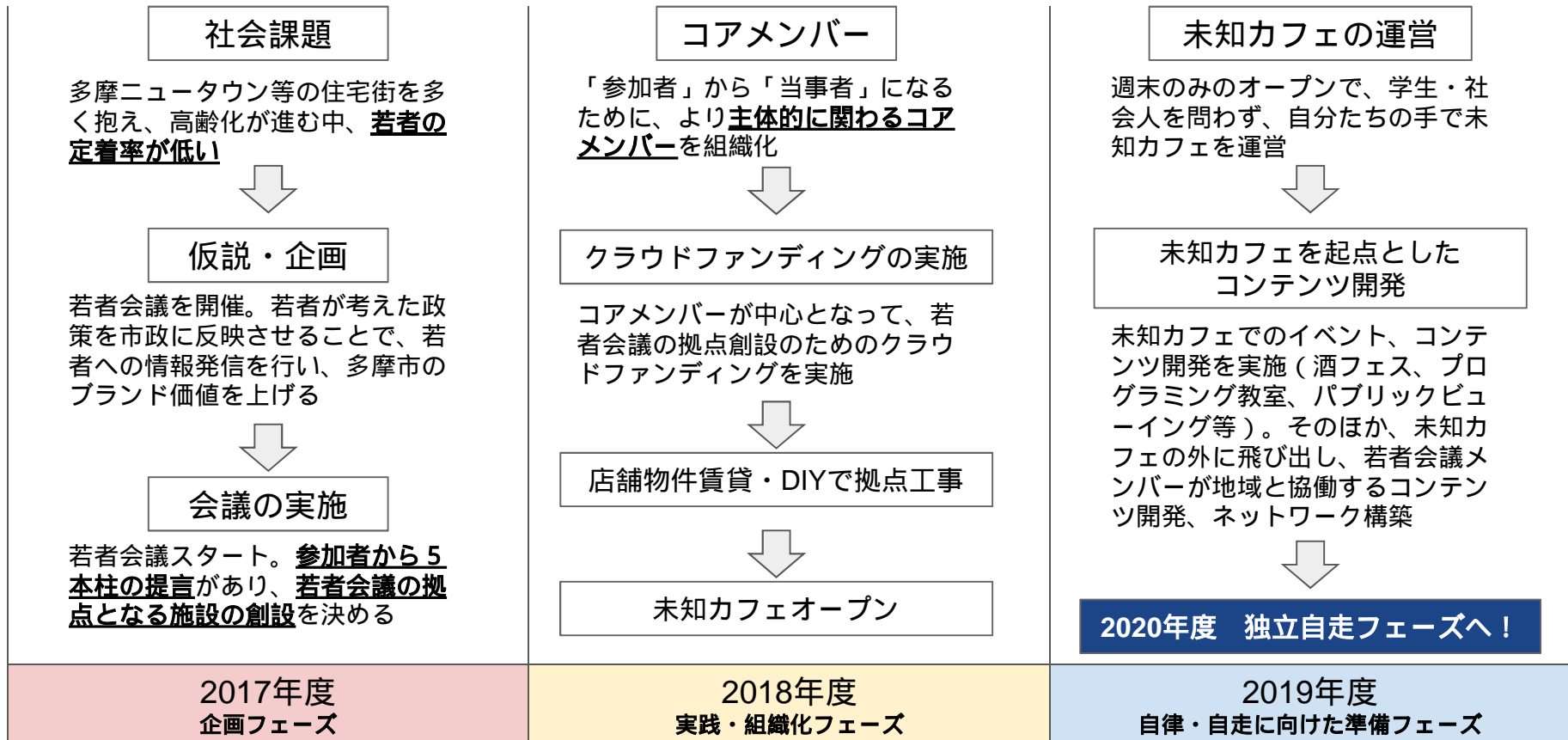
昨年に引き続きKAOFESに出店。職業体験として出張若者会議のインタビュー体験ブースを運営した他、今年度も齊藤工務店と協働で、建築資材の端材を活用したコースター作りワークショップを子供たち向けに実施した。

インタビュー体験に参加した子供たちや、フェスティバルを訪れた人たちとともに、多摩市の魅力を掘り起こす活動に取り組んだ。

22.多摩市外へのイベント参加・連携

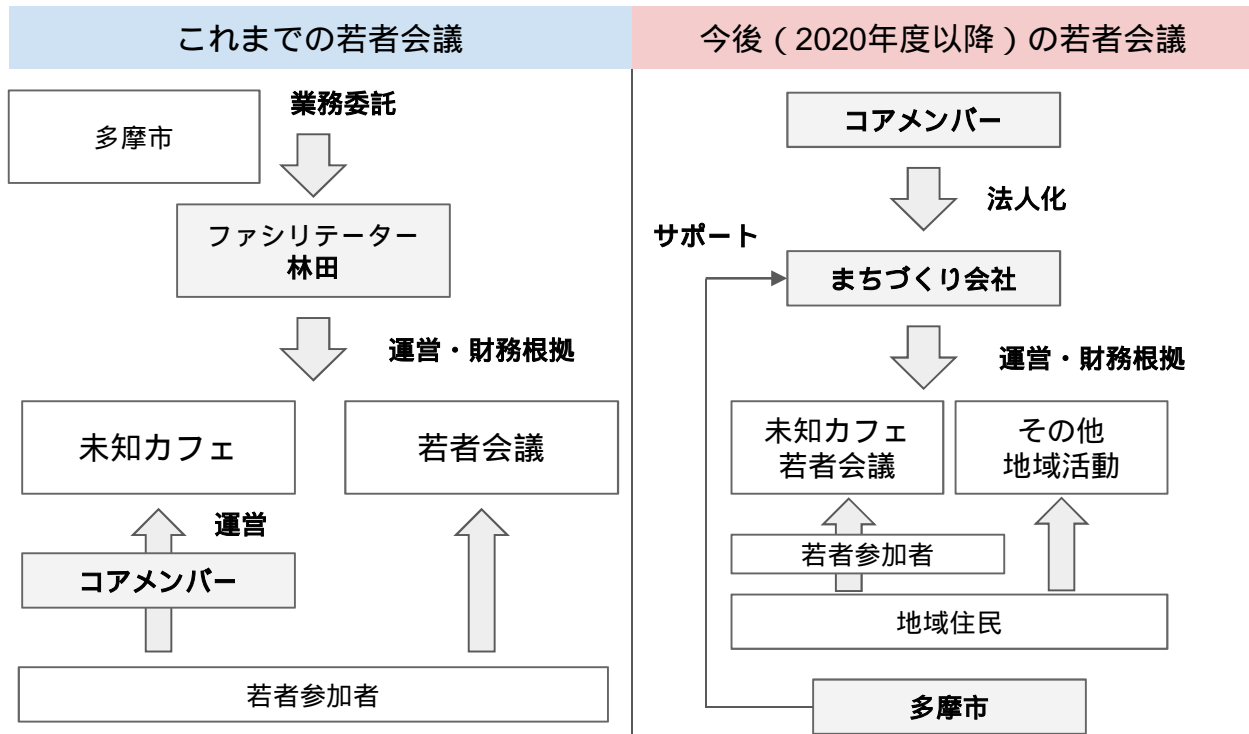
No	タイトル	日付	詳細	メイン担当（敬称略）
22	地域でマルチにはたらく、 くらす展（共催）	1月12日	日野市のリビングラボと共催した地域で複業を考えるイベントに参加、登壇	多摩市、高木 高野
23	全国まちづくり若者サミット（開 催協力）	2月1日、2日	若者会議を実施している全国の自治体、組織が一堂に会 するイベントへ参加、活動事例報告	西村、高野、高木
24	相模女子大学 若者と地域の連携フ ォーラム	2月15日	若者と地域の連携フォーラムに参加し事例紹介	高野、高木
25	多摩コミュニティビジネス研究会	3月14日	若者会議の実践を通じた開催事例の報告を予定	高野
26	COG2019	3月8日	Googleストリートビューのコンテンツで2年連続最終公 開審査に進出（入賞）。プレゼンテーション実施予定。	渡部、高野

23.多摩市若者会議の3年間の歩み



24.2020年度へ向けて～今後の課題～

2020年度 独立自走フェーズへ！



今後に向けて

3年間の事業を終え、来年度からは、コアメンバー有志が、新規にまちづくり法人を設立し、若者会議や未知カフェのみならず、様々な地域活動に携わることになる。「若者会議の中から有志が団体を立ち上げ、継続的に地域づくりに取り組んでいく若者を育む」という観点から考えると本事業は成功であったとも言えるが、一方で、「地域づくりの担い手になる」という観点から考えるとまだスタート地点に立っただけに過ぎない。

事業を離れるにあたり、新しく立ち上げられる法人が、多摩市の政策、想いに呼応して立ち上がった若者有志による起業であることを踏まえ、多摩市には長期的なサポートを継続していただけるようお願いしたい。

また今後、事業を引き継ぐ有志は、あくまでも自らの意志で立ったことを忘れず、初心を貫いて欲しい。さらに、若者だけでなく老若男女あらゆるレイヤーの地域住民を巻き込みながら地域づくりを実践するために「オープンスペース」を心がけていく、若者会議の真骨頂をまちづくりに役立てていただきたいと願っている。